

平成20年度 高冷地水稻生育速報(第1報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月10日調査)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	26.7 (101%)	284 (108%)	3.7 (-0.8)	35.7 (-1.0)	6.4 (+0.2)
	前年	25.8	202	4.3	36.2	6.2
	平年	26.5	264	4.5	36.7	6.2
ひとめぼれ	本年	22.0 (93%)	175 (59%)	4.0 (-0.7)	37.8 (-1.4)	6.3 (+0.1)
	前年	22.2	249	4.2	38.9	6.3
	平年	23.7	297	4.7	39.2	6.2
たかやまもち	本年	28.4 (103%)	167 (66%)	4.1 (-0.4)	33.4 (-3.0)	6.3 (+0.1)
	前年	26.0	209	4.2	36.6	6.2
	平年	27.5	252	4.5	36.4	6.2
ひだほまれ	本年	28.1 (100%)	151 (62%)	3.8 (-0.5)	33.6 (-2.7)	6.3 (+0.1)
	前年	27.3	193	4.2	35.2	6.4
	平年	28.1	243	4.3	36.3	6.2

栽培条件: 移植5月16日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 平年値: 過去5年間の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 気象概況

移植直後は高温で推移したが、6月に入ってから日中の気温が低くなっている。平年より降水量が多く日照時間が短くなっている。東海地方は6月2日ごろに梅雨入りし、平年より6日、昨年より12日早い梅雨入りとなった(北陸地方の梅雨入りは平年で6月10日ごろだが、まだ梅雨入りしていない)。

2) 生育状況

草丈は、ムレ苗で苗質の悪かった「ひとめぼれ」では平年より短くなっているが、他の品種では平年並みとなっている。茎数は、「コシヒカリ」では平年対比108%と多くなっているが、他の品種では分けつが遅れ、平年よりかなり茎数が少ない。

葉色は、いずれの品種でも葉色板、SPAD値とも平年より値が低く、葉色が淡い状態となっている。葉齡は、いずれの品種もほぼ平年並みとなっている。

植代(代かき)から移植直後まで高温が続いたために早くから「ガス」が発生したことと日照不足が、活着及びその後の生育に影響したようである。

2) 病害虫等の発生状況

植代(代かき)から移植直後までの高温により、早くから「ガス」が発生するとともに、アオミドロ・藻類やこれらによる表層はく離が多く見られる。

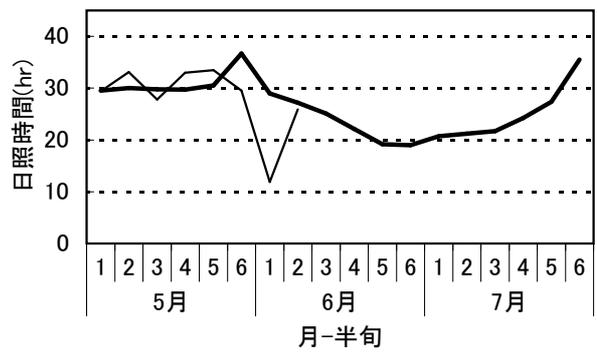
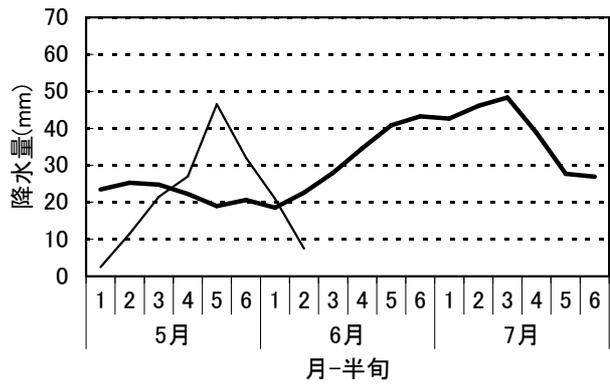
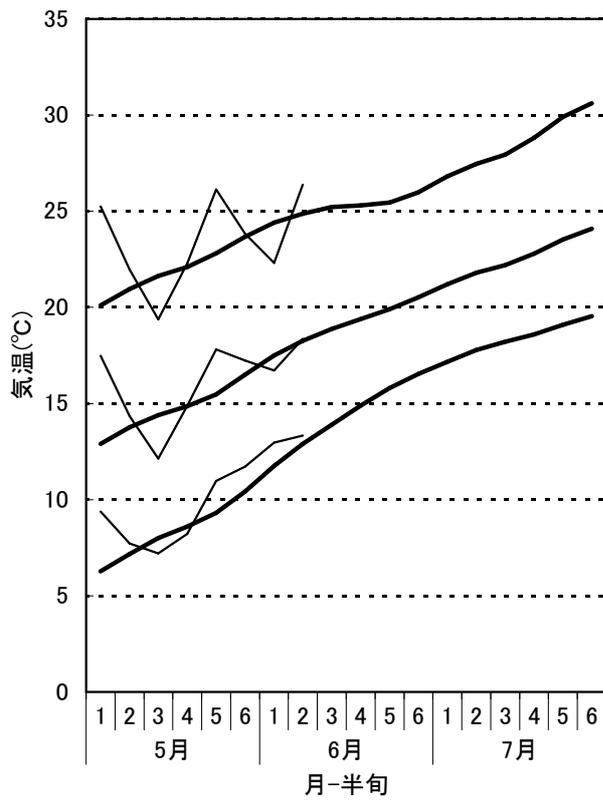
イネミズゾウムシが5月末から発生しており、食害痕が多く見られるとともに成虫が散見される。また、イネアオムシ(フタオビコヤガの幼虫)が発生し始めている。

3) 今後の管理

除草剤の処理時期との兼ね合いもあるが、生育促進、土壌中のガス抜き及びアオミドロ・藻類対策のため、早期中干しを実施すると良い。いったん落水してから2~3日干し、田面に細いヒビが入ったら入水する。干し過ぎずに田面を軽く固める程度とする。

生育は悪いが、気温は高くなっているため日照時間が長くなれば回復すると思われる。追肥は当面見合わせた方が良い。

<参考> 半旬別気象図(高山市アメダス)



— 平年 — 本年

岐阜県中山間農業研究所

TEL 0577-73-2029

FAX 0577-73-2751

<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>